



心晴れ晴れ

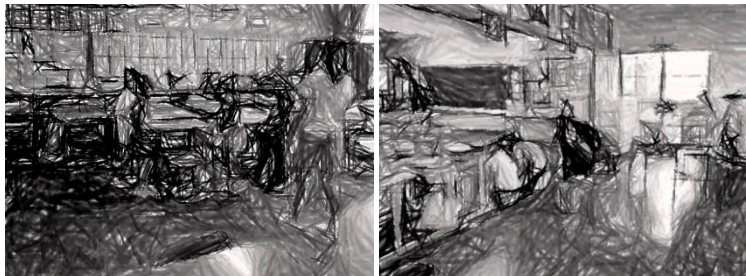
晴田小学校だより 第9号

令和8年7月 3日

文責 校長 高山 健

【学校教育目標】 心晴れ晴れ たくましく 学び伸びゆく 晴田っ子の育成

たてわり掃除スタート ～ 異学年で磨く ～



たてわり班顔合わせを済ませた子どもたちは、「たてわり掃除」に取り組み始めました。手本を示したり、指示をしたりする高学年。高学年の姿をモデルとし、未来の自分の姿を思い描く低学年。互いの存在を刺激としながら、自律的な関係性が育まれ、自律的な掃除時間へと高まっていく姿が楽しみです。左写真のグループからは、そんな芽吹きが感じられました。

研究授業 ～ 学び続ける教師であるために ～



新規採用職員は、その研修の一環としての研究授業を年間3回実施することとなっています。先日、先生と先生の研究授業を行いました。以下は、両クラスの様子について、私の気づきです。

- ・前時の振り返り時、先生が「辺」「角」「長さ」といった図形を構成する要素を確認されました。子どもたちは繰り返し「対応する」と付け加えていました。合同な図形なので「対応する」という言葉は大切でその言葉が根付いているのはこれまで丁寧に取扱ってきた証だと感じました。
- ・資料を配れば貼る、書いたら立つといった習慣が身についていますね。指示がなくてもできる姿からもこれまでの積み重ねを感じました。〇〇さんが座っている状況で読み始めたので気になりましたが、本人も周りも理解してのことであれば問題ないと思います。丁寧に書くがために時間がかかっているようですので、いつか個別に褒めておきます。
- ・よく考える、よく聴く、よく話す集団だなあと感銘を受けました。学ぼうとする姿って尊いなぁと改めて感じた時間となりました。そんな集団に高まらせているのは先生ですね。

- ・よくつぶやき、よく聴く、よく考える、子どもらしい集団だなあと改めて感じました。先生の、日常的な指導や関わりの賜物ですね。
- ・先生の「プリントが届いたら、まず名前を…」という指示を受け、〇〇さんや〇〇さんをはじめ多くの子どもたちが鉛筆を準備しプリントを待っていました。やる気の高さを感じました。
- ・シールを貼る人数(5人)になったら、〇〇さんがみんなに「もう終わり！」と伝えていました。集団のリーダーシップをとる姿がいいなあと思いました。
- ・手洗いチェッカーをした後に手洗いが不十分だった箇所を色を塗る、2度目の手洗い・チェックが済んだ後は、プリント裏面のブランクを埋めるなど、指示がよく通る集団だと感じました。(掲示物を準備するなど、視覚支援も適切でしたね。)

子どもたちの前に立って約3ヶ月、先生と先生が、熱意と創意、誠意をもって授業に臨まれている努力がうかがえる時間となりました。また、子どもたちとのやりとりからは、その関係性が強固になっていることもうかがえました。この授業は、初めて担当した子どもたちとの忘れられない思い出になります。そして、この授業から自分が、子どもたちがどう変容していったのかを振り返る際の出発点となるはずです。今後もチーム一丸となって、それぞれの力量を高めると共に、なりたい自分の姿を目指していきます。

佐賀県では「ほめるから、はじめる。はじまる。」という合言葉があり、自己肯定感を高め、自分で考え、判断し、行動できる「主体性」を身に付けた子どもの姿を目指しています。これからも、右表に示された姿をイメージしながら、ご家庭とともに子どもを成長へと導いていきたいと考えています。

どうぞ、よろしく願いいたします。

どんな教師に…?

- 凡庸な教師はただしゃべる。
- 良い教師は説明する。
- すぐれた教師は自らやってみせる。
- そして偉大な教師は心に火をつける。

親の態度	子どもの学び	具体例(本言より)
励ます	自信を持つ	失敗しても「次はできるよ」と声をかけると、子どもは諦めなくなる
ほめる	明るい子になる	努力や小さな成功を具体的に褒めると、子どもは前向きなものの見方をする
認める	自分を好きになる	子どもの感情や個性を「そのままでもいい」と受け止めると、自己肯定感が高まる